

様式 1-1 (インフレスライド関係)

[受注者からの請求]

年 月 日

堺市上下水道事業管理者 殿

受注者

所在地

商号又は名称

代表者職氏名

工事請負契約書第 25 条第 3 項に基づく請負代金額の変更について (請求)

年 月 日付けで契約締結した下記工事について、賃金等の変動により、工事請負契約書第 25 条第 3 項の規定に基づき請負代金額の変更を請求します。

記

1 工 事 名

2 工 期 年 月 日 から

年 月 日 まで

3 請 負 代 金 額 \_\_\_\_\_ 円

4 希 望 基 準 日 年 月 日

5 概算残工事請負代金額 \_\_\_\_\_ 円

※概算残工事請負代金額とは、請負代金額から希望基準日における出来形部分に相応する請負代金額を控除した額

6 スライド変更請求概算額 \_\_\_\_\_ 円

7 請求根拠資料 別紙のとおり

※今回の請求は、あくまで概算額であり、精査の結果、請求額が変更となっても問題はない。

※請求根拠資料は、工事担当課が指示する資料を提出すること。

様式 1-2 (インフレスライド関係)

[発注者からの請求]

年 月 日

受注者

商号又は名称

代表者職氏名

様

堺市上下水道事業管理者

工事請負契約書第 25 条第 3 項に基づく請負代金額の変更について (請求)

年 月 日付けで請負契約を締結した下記工事について、賃金等の変動により、工事請負契約書第 25 条第 3 項の規定に基づき請負代金額の変更を請求します。

記

1 工 事 名

2 工 期

年 月 日 から

年 月 日 まで

3 請 負 代 金 額

\_\_\_\_\_ 円

4 希 望 基 準 日

年 月 日

5 概算残工事請負代金額

\_\_\_\_\_ 円

※概算残工事請負代金額とは、請負代金額から希望基準日における出来形部分に相応する請負代金額を控除した額

6 スライド変更請求概算額

\_\_\_\_\_ 円

※今回の請求は、あくまで概算額であり、精査の結果、請求額が変更となっても問題はない。

様式2 (インフレスライド関係)

年 月 日

受注者

商号又は名称

代表者職氏名

様

堺市上下水道事業管理者

工事請負契約書第25条第3項に基づく協議の開始の日について (通知)

年 月 日付けで請求のあった件について、スライド協議開始日を定めましてので通知します。

記

1 工 事 名

2 工 期

年 月 日 から

年 月 日 まで

3 協議開始日

年 月 日

※スライド協議開始日は、残工事量の確定及びスライド額算出の日数を考慮して定める。

年 月 日

受注者

商号又は名称

代表者職氏名

様

堺市上下水道事業管理者

工事請負契約書第 25 条第 3 項に基づく請負代金額の変更について (協議)

年 月 日付けで請求のあった工事請負契約書第 25 条第 3 項に基づく請負代金額の変更について、下記のとおり協議します。

記

1 工 事 名

2 工 期  
年 月 日 から  
年 月 日 まで

3 基 準 日  
年 月 日

4 スライド変更金額 請負代金額 円 \_\_\_\_\_ の増額変更  
うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 円 \_\_\_\_\_

5 承諾書の提出 4 の協議額に承諾する場合は、年 月 日までに承諾書を監督員に提出すること。

年 月 日

受注者

商号又は名称

代表者職氏名

様

堺市上下水道事業管理者

工事請負契約書第 25 条第 3 項に基づく請負代金額の変更について (協議)

年 月 日付けで請求のあった工事請負契約書第 25 条第 3 項に基づく請負代金額の変更について、下記のとおり協議します。

記

1 工 事 名

2 工 期 年 月 日 から  
年 月 日 まで

3 基 準 日 年 月 日

4 スライド変更適否 スライド適用が認められない。

5 理 由 スライド額が対象工事費の 1%を超えないため

※増額スライド用

工事に係る賃金等の変動に基づく請負代金額計算書

請負代金額	出来高額	P <sub>1</sub>	P <sub>2</sub>

$$\begin{aligned} \text{スライド額 (S)} &= ( P_2 - P_1 ) - P_1 \times 1/100 \\ &= ( - ) - \times 1/100 \\ &= - \\ &= \end{aligned}$$

但し、 $P_1 < P_2$

P<sub>1</sub> : 請負代金額から基準日における出来形部分に相応する請負代金額を控除した額

P<sub>2</sub> : 変動後（基準日）の賃金等を基礎として算出したP<sub>1</sub>に相当する額

$$\begin{aligned} \text{スライド額 (税込み)} &= \times \text{消費税及び地方消費税率} \\ &= \end{aligned}$$

※減額スライド用

工事に係る賃金等の変動に基づく請負代金額計算書

請負代金額	出来高額	P <sub>1</sub>	P <sub>2</sub>

$$\begin{aligned} \text{スライド額 (S)} &= ( P_2 - P_1 ) + P_1 \times 1/100 \\ &= ( - ) + \times 1/100 \\ &= + \\ &= \end{aligned}$$

但し、P<sub>1</sub> > P<sub>2</sub>

P<sub>1</sub> : 請負代金額から基準日における出来形部分に相応する請負代金額を控除した額

P<sub>2</sub> : 変動後（基準日）の賃金等を基礎として算出したP<sub>1</sub>に相当する額

$$\begin{aligned} \text{スライド額 (税込み)} &= \times \text{消費税及び地方消費税率} \\ &= \end{aligned}$$

